

保健だより

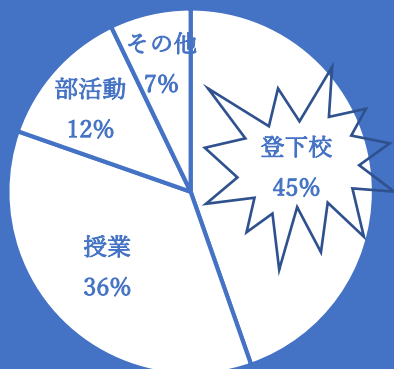
令和2年7、8月合併号

岡崎北高校 保健室

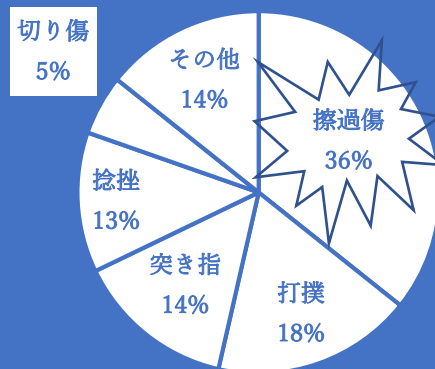


岡北のケガの状況(5/27~7/22)

場合別



種類別



上のグラフは、学校再開～現在（7/22 時点）までに、保健室でケガの手当てを受けた人の割合をまとめたものです。グラフから分かる通り、ケガをした状況（場合）では『登下校』が、ケガの種類は『擦過傷』が一番多いです。

ケガをした時の状況を詳しく聞くと、「**自転車で曲がろうとして、側溝のフタや点字ブロックですべった**」というケースがとても多いです。荷物が重くバランスを取りづらいことや、スピードの出しすぎ、急ハンドルなどが要因として考えられます。

『湿潤療法』について

『擦過傷』の手当てとして、近年、消毒は用いられず、主流となっているのが『湿潤療法』です。これは、傷をしっかりと覆うことで、浸出液を逃さずに湿潤状態を保ち、治癒に最適な環境を作る方法です。

ここで最も大切なことは、「**傷口を水道水でよく洗うこと**」です。保健室で手当てをする時にも、細かな砂や石など、汚れが残っていないか何度も確認します。擦過傷で来室した生徒で、この洗浄を1回でクリアする人はなかなかいません。

この後、保健室では清潔なガーゼで傷口を覆います。しかし、保健室での手当てはあくまでも一時的なものです。自宅に帰ったら、シャワーなどで傷口を洗い、ガーゼを新しいものに交換してください。



改めて『新しい生活様式』！



マスクの予備を！

「マスクを忘れた」と保健室を訪れる人が後を絶ちません。「落として汚れた」、「ヒモが切れた」という人もいます。

カバンに**マスクの予備を数枚**入れておくと安心です。

検温→記録していますか？

「学校再開後の学校生活に関するお願い」というお知らせを、5月にホームページへ掲載しました。今一度、内容を確認してみてください。裏面の『**体温記録表**』を活用して、**毎朝の検温もお忘れなく！**